



ブランディングアドバイザー
東京農工大学客員教授 福井 隆 さん

古代の古代、みやまの地にはたくさんの島々が点在し、有明海に面した女山の麓や海津などに、いくつかの湊がありました。当時、大陸からの船の往来による人や文化の交流が盛んであったことや、稲作漁労文化を担った長江文明の担い手たちが、海を渡り有明文化圏に渡って来たことが推測されています。この地は日本文化のまほろば、これこそがみやまの本当の魅力ではないでしょうか。



コンセプトは「調う、」一。

「調」という漢字には、互いがほどよくつりあうこと、手を加えてほどよくすることなどの意味があります。キャッチコピー「くらし調う、みやま有明」には、人と人、人と自然、自然と自然が互いに生かし合いながら共生し、くらしの質を高めていきたいという思いを込めました。また、ロゴマークに描かれた上の手は「くらしをつくりだす手」、下の手は「歴史や風土、文化を大切に拾い上げ、守り続ける手」、両の手で「人と自然など、自分以外の誰か、何かの幸せを思う利他の心」を表しています。

ブランディング推進委員会委員長 徳永 順子 さん

みやまにこれほど豊かな食文化が発達した背景には、平和に恵まれた暮らしと、それを素直に受け継いできた人々の心の豊かさがあるからだと思います。このロゴマークは、月、波、手、有明海など、みやまの風土や歴史を表す象徴的なデザインとなっています。自然と共にあり、自然との調和がとれた豊かな「みやまのくらし」を、市内外の人にもっと知ってもらいたいです。



みやまファンを生むブランディング

事業者をはじめとした市民の皆さまと、地域の魅力を再発見し、市内外へ発信するため、「みやま市ロゴマーク及びキャッチフレーズ使用取扱要綱」を制定しました。使用する際は、申請が必要です(使用料は無料)。みやま市の魅力をとともに発信していきましょう。



コンセプト企画「つきなみ旅」
つきなみでない体験をあなたに

市では、シティプロモーションのコンセプトに基づいたプログラム「つきなみ旅」を毎月実施しています。自然との調和をじっくりと感じられる体験や、先人の知恵で受け継がれてきた食文化など、「調う、」を実感できる充実の内容となっています。詳細は市ホームページをご覧ください。



問 商工観光課 商工観光係(Tel.64-1523)

- ①清水寺本坊庭園でお月見とお茶会
- ②「からだ調う」酵素ドリンク作り体験
- ③我が家だけの「手作りしめ飾り体験」



※体験プログラムや商品開発、ブランド化に興味がある事業者は、みやまブランディング推進委員会(商工観光課内)へ問い合わせください。

実施例

自然と誰かに伝えたくなるまち

くらし調う、みやま有明。



みやま市ってどんなまち?
「なんもない」と思ったあなた。私たちが当たり前に取り持っている自然の恵みの素晴らしさに目を向けていないだけかもしれません。

古代からつづく、みやま有明の恵み
月のリズムによる有明海の満ち引きと矢部川の氾濫によって、みやまの地には海と山の養分が堆積し、古くから肥沃な土壌を形成してきました。さらに日照量にも恵まれていることから、農耕に最適な地として先人たちがこの地を選び、3千年の時を超えて豊かな食文化や伝統を育んできました。言い換えれば、みやまの地には、文明が栄える条件がそろっていたということ。
市では、令和5年9月に「調う、」をコンセプトとした第2期シティプロモーション戦略を策定して取り組んでいます。
先人たちが築き、大切に受け継いできたみやまの本当の魅力を、みやまに暮らす私たちがまず実感し、大切に守り、そしてみやまを訪れる方を優しくお迎えすることがシティプロモーションに繋がります。
単なる情報発信ありきのプロモーションではなく、自然と誰かに伝えたくなる、そんなみやま市を市民の皆さまとともに目指してまいります。

問 総合政策課 シティプロモーション係(Tel.64-1550)

ワンヘルスの普及に向けた取り組み

みやまのワンヘルスを市内外へ発信

市では、広報紙やInstagram、ワンヘルスフェスティバルの開催などを通じて、みやま市のワンヘルスの取り組みを市内外へ発信しています。今後も、市民の皆さまや、宣言事業者の皆さまと共に「ワンヘルスのまち みやま」の実現に向けて取り組みを進めていきます。

★福銀本店に「みやま市ワンヘルスブース」

福岡銀行本店(福岡市中央区)のロビーで12月に開催された福銀ロビー展で、みやま市ワンヘルスブースが設置されました。ブースでは市で実施しているワンヘルスの取り組みや、市の魅力を紹介。太陽光発電によるエネルギーの地産地消やバイオマスセンターにおける資源循環の取り組み、ワンヘルス教育に関することを多くの方に知っていただく機会になりました。



★市内のお店に「のぼり旗&ステッカー」

県ワンヘルス宣言事業者に登録された市内の宣言事業者に、市オリジナルののぼり旗とステッカーを配布しています。店舗などに掲示していただき、事業者の皆さまと共にワンヘルスの普及啓発を推進していきます。



▲のぼり旗



▲ステッカー

★実践の第一歩「わたしのワンヘルス」



みやま市観光協会 徳永 勉 さん

みやまの農産物収穫体験やホテル保存会への参加など、地域コミュニティと共に自然を守る活動をしています。また、令和9年のワンヘルスセンター供用開始に向け、安全で快適な観光ルートの整備を進めていきたいと考えています。みやまの魅力を多くの人に知ってもらい、ワンヘルスの理念を基に、みやまの豊かな自然を守るために努力していきます。



八女茶業本舗株式会社 内田 繁 さん

緑茶にはカテキンによる殺菌効果や抗ウイルス作用があるといわれており、コロナウイルス流行以前からお茶うがいを実践しています。また、お茶殻はお茶風呂にしたり、掃除に活用したりと、さまざまな活用法があります。これからも、お茶を通したワンヘルスの実践で、皆さまと健康で楽しい日々を共有していきたいです。

くらし調う、みやまのサポート制度。



問 ①～⑥総合政策課 シティプロモーション係(Tel.64-1550)、⑦⑧都市計画課 住宅政策係(Tel.64-1540)

市では、新しい生活を応援するための移住定住に関するさまざまな補助制度があります。該当する可能性があるかは、ホームページで確認できます。詳しくは、各担当課へ問い合わせください。

<h3>1 結婚新生活支援補助</h3> <p>新婚世帯が結婚を機にかかった費用に対し、</p> <p>最大 60万円</p> <p>※所得制限あり ※年齢上限あり</p>	<h3>2 新婚世帯・子育て世帯家賃補助</h3> <p>最大 24万円</p> <p>最長 1年間</p> <p>※新婚世帯または高校生以下の子を含む転入世帯が、市内の賃貸住宅に住む場合</p>			
<h3>3 マイホーム取得支援補助</h3> <table border="1"> <tr> <td>新築の場合 20万円</td> <td>または</td> <td>中古の場合 10万円</td> </tr> </table> <p>子育て世帯の場合 5万円加算</p> <p>転入世帯の場合 5万円分加算</p>	新築の場合 20 万円	または	中古の場合 10 万円	<h3>4 みやま市お試し訪問補助</h3> <p>1人、1泊 3,000円 ~ 22,000円</p> <p>+ 現地での交通費 最大 10,000円</p> <p>※2泊目は一律3,000円、補助は2泊分まで ※最大4人まで(小学生以下半額)</p>
新築の場合 20 万円	または	中古の場合 10 万円		
<h3>5 若者移住・定住通勤定期利用支援</h3> <p>公共交通機関で市外に通勤する35歳以下の人に、定期券などの購入費用を3年間支援します。</p> <p>最大 36万円</p> <p>(3年間合計)</p>	<h3>6 奨学金返済支援</h3> <p>中小企業などで働く、奨学金を返済中の人(30歳以下)を3年間支援します。</p> <p>最大 54万円</p> <p>(3年間合計)</p>			
<h3>7 空き家バンク</h3> <p>市内にある、売却や賃貸を希望する空き家・空き地の情報を提供しています。</p>	<h3>8 空き家リフォーム補助</h3> <p>空き家バンクに登録された物件が成約した場合、リフォーム費用の一部を補助します。</p> <p>最大 30万円</p>			